



市の花
なのはな



市の木
さくら



市の鳥
ひばり

つくばみらいの

学校紹介



第4回

～三島小学校～

つくばみらい市立三島小学校は、明治18年4月20日に谷井田小学校下島分教場として創立しました。その後三島村の誕生に伴って、下島分教場は自然廃校となり、明治22年7月三島尋常小学校が再設されました。分教場をそのまま引き継いだ校地校舎でしたが、三島の名を冠した独立の学校の歴史的な発足でありました。創立当時は現在のすみれ幼稚園の敷地にありましたが、児童数の増加に伴い昭和54年に現在地に新校舎を建設し移転しました。新校舎完成の頃には児童数は300名を超え、昭和59年度には13学級360名にまで増加しました。しかし、その後減少し現在は6学級113名の小規模校になっています。学校の周辺は水田が多く、田園の静かな環境の中にあります。

学校の正門前には、現在の校舎が建設された記念碑とヒマラヤ杉の記念樹があり、昭和51年4月に発足した「三島小学校建設促進委員会」の方々や建設に協力していただいた方々の努力の足跡を語っています。大きくなったヒマラヤ杉は、毎日児童の安全を見守ってくれています。



▲記念樹のヒマラヤ杉



▲群読集会の様子

三島小学校では、「朝の読書」や「読み聞かせ」の時間などを通して、読書意欲を喚起し読書活動の推進に努めています。本年度からは月に1回「群読集会」も取り入れています。「朗読・音読」はかつて「学習」の基本形でしたが、いつしか「黙読」が主流となりました。しかし、「声を出して読む」ことの大切さが今見直されてきています。群読は、詩歌や文章や古典を声を合わせて分読する活動です。大勢で声を出し、参加する人の心と体をひらく活動です。4月は体育館で、各学年国語の教科書の最初に行っている詩を発表し合いました。月に1回のペースですが確実に向上しています。

また、「異学年集団による活動」を積極的に取り入れ豊かな心の育成に努めています。毎日の縦割り班による清掃活動、ふれあいタイムを利用したの全校遊び、ランチルームを利用したランチルーム給食・バースディ給食、登校班でのクリーン作戦などにおいて行っています。

保護者や地域の人との交流・連携では、毎年7月に「ビーチボールバレー大会」を実施しています。1年～6年の保護者チームと5年・6年の児童チームの計8チームで戦います。今年も大変白熱した試合ばかりでした。11月には、「三島小まつり」を実施しています。これは日頃の学習の成果を発表したり、体験活動を行ったりするものです。また、地域の人や保護者とのふれあいを深めるよい機会でもあります。具体的には、児童の学習発表会・物作りなどの体験活動・模擬店やバザー・観劇などを、外部講師や劇団を招いて行っています。児童・教職員・保護者が協力し、地域の人も参加する行事です。



▼三島小まつり

平成18年6月には、青少年育成つくばみらい市民会議三島支部を中心に、地域の方々にボランティアを呼びかけ「三島安全パトロール」が発足しました。犬の散歩や買い物などの折りに、腕章やステッカーなどをつけて児童の登下校や地域での子どもの生活などを見守っています。腕章やステッカーをつけて出かけることにより、地域全体で子どもたちの安全を見守っているという、「安心で安全な地域」への大きな一歩となっています。

三島小学校では、保護者や地域の皆様とさらに連携を深めながら、「明るく楽しい学校」づくりと児童の健全育成を推進していきたいと考えています。これからもご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。